☆帝国主義国、後進国、「労働者国家」 三ブロック階級闘争を

世界プロ独一世界共産主義の勝利へノ 共産主義者同盟



旗

7日 破防法第五回公判 1時 東京地影

10日

## 12·7日本反帝戦線中 や総決起集会に結集

## 闘争を 現地新潟

昨年の4・28以降、軍事問題を

を、大衆的に明らかにしたのであ

ソビエ

トをめぐる諸派の誤謬を

からつて、打合関係が乗して、かかかが数率のの関係をまえ して、今本共同の審定が解析し、と思われば、20mの回路をまえ そこ、あまらに機関で、保証・回いる機能があるとし、明年の を対して、今年、日本年、日本年、一般的回路をある。 このソンドは開業と、われれば、からでどればならなど、その は、火ルを「機能の変形をか、一大期間などと、ここ、任事の は、火ルを「機能の変形をか、一大期間などと、ここ、任事の は、火ルを「機能の変形をか、一大期間などと、ここ。任事の は、火ルを「機能の変形をか、一大期間などと、ここ。

などとうとうようとうとう W地における全国教師連絡会議額いくぐるなかから、第二次プンド 現地における全国教師連絡会議額いくぐるなかから、第二次プンド 現地における全国教師連絡会議額

われわれば、この間、地区仮郷

た会共間に対してソピエト運動のいるのである。サンジカリズムへ ツダム自治会の設界性から生れ出 みることが誤りなのたと主張して ツダム自治会の霰界性から生れ出 みることが誤りなのたと主張して登場させるのは不可能である。ボ 個別性が実体的にも止傷されたと

日時 会場

主 講催 演

地区共闘建設を推進せよ

叛軍闘争における諸派の誤謬

破防法と闘う講演集会

十二月十六日 六時 猪俣浩三 羽仁五郎 九段会館(墨紫四縣九聚七 浅間光輝

に起 C て既いぬかれんとしている。 の下に基地闘争をし鉄譲闘争とし 〇の前段として仮属闘争が離われ ・市民の得さん! 三田塚に総結 ・市民の得さん! 三田塚に総結 阿帝国主義にぶつけようではない

三里塚闘

を 公舎に対する自然発生的酵季を含 民 ・各務原日本原におけるナイキシ の ・ 機 エットミサイル挑地の縁波巨丁C ア 海 エットミサイル挑地の縁波巨丁C ア

一工・六三星塚に全国の四う農

破防法裁判闘争を支える 会

## 全国叛軍連絡会議結 強固な意志統一を克ち取れく 成 E it

ら縁括しえず、ただただいたずらているし、六〇年代階級闘争を何 集会会とそは、六〇年代階級闘争・的敗北と、第二次BUNDの開業 ・コ・七日本反番無線中央総決・て関った六〇年代階級闘争の根底 りない。

らなければならな

・ (反スター高共同前派をも止揺する への単路論の構築によって、即自的 さい (観響等に撤近し、世界一関同時点)

きた反傍続一勝級の、議党派の選

全国の同志諸君! 級旗號者諸

・方法論の整理を発し、共産主要

が反情影線の全面的へゲモニーの この領事活動を断乎支持する 観念にむけた、地区共門へと、わ する物理簡単を、網載級とと 突厥大○年代階級刑事を担って 撥も原則的に推進してきた

運動、地区頻繁行動表質会として

今国の総務的労働者・熊旗読者満君ノ 共産

安再編を通して実現せしめられんとしてる

同

盟

るべきプロ独権力を担うソビエト ■事外交路級にまっこうから対決

、会共闘の無別組織から、

同の基本軸を領事外変略線として

れわれは、七〇年代日春の東 入營・坂網・沖縄・公害

- 護期世界の鉄の坂奇党総役を希求 て、深党派はおしなべて、一屋キーイデオロギー的状態や獲得し、※一月、インドシナ原命終冬をめぐっ一反スタ=高共同消滅をち止揺する - 是は目をおおうばかりである。五

全図の同志画者! 機振騰者諸 BUNDの被場を鮮明に印したのしている

いても結束すべく、一二・九乗通「乗・発展として、 での一切の成果を、大乗騎争にお、クス、レ・シンキンの一切の成果を、大乗騎争のこれま、主義を組織する侵われが、恒常的武装闘争のこれま、主義を組織する侵 型体会上著を組織すると、第三次 位常的武士等 中に帰和しぬき、世界プロ独一世、劉華忠・リタモの中心は の参信の中心は の参信の中心は を終結しきり、内戦一世界大命所・の参信の中心は を終結しまり、大の正代階級勝等・的歌北と、第三 組織学る党」として、マルビ州を、「領事をみみ共産」 アーら、帝領領体―正規 むて、この間、価値論 響の簡手をよりさって、YーRG 野いえないし、本意の原則的な離 敷し、他力では、鉱物な政治數 しても、小四な型る党にとして、Yル 著たちどの、熾烈な党後競争を言います場響であっ

談、あるいは「パルチザン終季」 又、沖縄隊等にしても、中権派を 民武装」しか機能で含め領事度対 入管理等においても然りである。

#李良労 | 入管時券においても然りである。 | をもって、企関から親連新妻で、「全人 | 変、民族主義を繁星してしまった | 題拳の成果を確認し、健闘な部隊

全国安康連絡会議結成を売ら取り に、地区共開へ再輸し、日帝の国

反情統一般線を地区教室を揉介

選事の問題に対し、声気本枚様と合併的に対掛せるこ

12.7 公儿 厂総決起集会

□場所 □日時

中野北公会堂 十二月七日

午後五時半

では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 で

提起することは、このプロ独の樹 「無人れ的言辞を捧して、 を報酬等

た全人民武装のスローガン

マンを全く 故し的展開(図トロ)や、超量大い。こうし る一切の部分の、仮類闘争の切り、こうし る一切の部分の、仮類闘争の切り、かかいれば、かかいのが、かれれば、かかいのでは、ないのでは、かかいのでは、ないのでは、一般な問題をして、大変問題をして、大変問題をして、大変問題をして、大変問題をして、大変問題をして、対した。

ものであることを、われわれば黴 共労党と、錯乱した「疾駆闘争な会論」の全くの無理解からくる こうしてまだML・フェント教略漁の区別性の無羈層「道蹇剧」次号「房放涨批判」参照)

「福命政法」に近れの「東京なわると」というなで産業力を築されたしても数数、電視を高額というでしまった。 で、翌年は14歳の日本からから、 200次ので産業力を発されたとい、 200次ので産業力を発されたとい、 200次ので産業力を発された。 200次ので産業力を発生された。 200次ので産業力を含えれた。 200次ので産業力

数 者議名の財政的・労権上の協力を心から要い あるのである。その歌の計算にあれたしてのさらなる務膜を選択 するものである。その歌の計算を表現 ままり するものである。その歌の計算を表現 ままり するものである。

権利を必須の政権課所におった国民の政治的 十ますこれに対する単純事化的財産ともなっての所任が実的政治による会国民の政治的 十ますこれに対する単純事化的財産主義の支援を制度を持ちませた。それ故ままを受回し、この意図を選の会権を制度を制度。

「懸蹇」何刊四頁化の物質的保障への協力 して照稿に極集局 声明として 掲げられた

ており、この働いのために大量の資金的理

保釈金確保·破防法公判貫徹·党建設

年示し時金し割切とので  たる田林「左派」の諸君との党内 しての自由の領域の拡大としてあ

神奈川反帝戦線 関争のなかで責任をもって る以上、即ち、経済原則の合目的

総決起集会

浜開港記念会館 12月6日 午後六時横 BUNDへ飛い環すべき 通程のな の確認によって初めてその正揚の駿内の諸ブラ 夕の形成= 第三次 という資本主義社会の根底的矛盾

敗北への道--毛沢東主義を粉碎

神奈川A―F総決集会基調報告 (要旨)

`「党の革命」の更なる推進を!

神『奈川にお ける活 意義が明らかにされるからである

到るまで武技蜂趙を組織し貫徹 が、労働力の商品化に基く主体の



における連日の惨覚活動|渤族映読者諸君ノ神奈川茂帯影響

ロタ谷ー四ッ谷地区敷御 に結応された神田地

我倒行動委員会が結成されたの ・中部地区無銀行動を異命

護規管、市ケ谷、四ツ谷、神田地 という選出を設との接押をかまえ、準備会よりの蒸 ルキー経済の破壊

の数量の戦士諸君の力強い決意 | 働者国家」の著

/>という世界間時輩命の厳略ス - 略級争を内 映=世界 革命歌争へ

いる。<特国主義の反革命・

日帝のアジアにおける以蘇倫阿門

東京地裁

▼昭争における欧内工作の重要性 | 断に統一世級電差防衛としての図り連帯のアピールがよせられ、叛 | る2つの東京の表表によって、不 ○透帯のアピールがよせられ、板 る2つのますがで成によって、▼ さらに、欧友反動からの堅い個 体制というでは海銀制世界に於ける。

- を1個社会主義のなかから不断に の意味をよく考えてみることだっ 波」の主張である。我大が治す葱、塩源的温敷・組縛り 一片でもあると言うのか起族主義 を「皮沢素国」の領令としたこと 一切路入れ毛売車数余主義者「左 一終一数源を以っ」

らが自らのウクラードを育する存。 反革命ケーデターは、中国共産党 一楽褒をいっているのであり

の党、組織器、総軽器、総経書へ会てが、のである。ところが、それが現在、「唯意」たる党「左・泰主義的、塚方路、総寺路、漢書、様めて特殊なものとして厳まれた。て、即ち「永統・英・次に達えは、自称「左派」の共 根拠としてはじめて襲事療故区が、199)を行わ

 $11 \cdot 21$ 下丸子三菱重工を攻撃

中核派を圧倒し叛軍闘争を牽引

における断備としたデモンストレー格する反常統一般線の再構を実体。日和見主義に他ならないことを知

採択し、インター斉嶋からって開新後に行動機能とスローガンを

帝国主意領欧邦体ー革命の策隊

【都中部分階】会都・会国の革命|解体を推し進めるべき革命の顕映|・ションを貢献した。 赤ヘル叛軍続々結成 神田、市谷、四谷で る軍事の問題を主体的に把握する

無務悉に打ち砕き、現代過種類世われわれば、彼らの甘い腹値を

**減等プ** から「大管航空機」へと注意を3 運化して、恒条銀送額者の課題「上部裁員への指導通池として運搬」よ子まで発生、宏観化していく、プレスト部制をして機関した。 企業の総成株式、「機関一機」とはじまげ、新には「大管機関」が必要機関もの企業的な実施の「一部の観察を持り指定法関・プレビエ」の機能と置う株理機制があった。 | 三級治療、薬産機の根機的研令を

叛軍入管鬪争をめぐる更なる党派鬪争へ!

閻殺弾し、入管闘争を目寄の譲事 │ 掘されるのではなく、明確に、蜂 │ 山本養経会陽会共闘雑長から出版 │ の中核を担う反策行動委員会総設

・ 即ち、地区共闘は、蜂起の陣 争を実体的に担い、

我が反帝戦緩騰長米田阿志は、 | る金国短頭は、決して、中核・四 |

周年闘爭に二万七千の結集

このような概念、低海する継派

窓部歌ノ地俊時終者籍君ノ とと」を 鮮耐に基拠したのであ 広場にて親指集会を行なり解散 でんセンタ

11・22新居浜入管解体闘争

私屋、権動隊と、至誠会の難争破警備訓練も乗ねて、百名余の、

登城の工部、新屠浜に真紅の赤へ 広場にて鉄插集会を行ない解散し

ル形隊の数据をめざして聞いぬか

務所解体腕等を難いぬいたことを 俗所解外腕骨を繋いぬいたことを「極念を貢献し、われわれの除例に米共同角朗一周年。新層派入管事「壊に抗し、入管事務所前限も込み

半に再び腕延されると間時に非適

判長は、自己の暴力の発動に

も被行各人が決して国際しない

公く自己の魅力的訴訟指揮に紅

今u変加合機体粧を厳し、セギマー含ないと紹言した。 に耐え切れなくなるや一一時一〇一利において判決を受けることはで

- 造転命令を発し金制退続さし、別の抗機認証し、彼自人、非議人なり、乗山弁護人に対し殺さし級判はもにや裁判ではないと非議会という。

安田公判、実刑判決 無人の法廷で暗黒裁判強行

と分削な判決行に扱われた日格プ

統一公判の正当性を償款する

体制操作策動の暴露を問題と

これに対し裁判長は何ら

主義(いらのだから「左派」の世界版)ら今王院実に代表される後漢國の「うとすることが正したのかとうな。社会主義を省り与するくの後の「株世界革命総件」の担い手とされ、世界革命参争の「種に知わりつ」。こ城いてきぞそのまま当てはめょ、いうのかから、世界プロセラウ れ党=国家乃至党=共産主義を言 しなく終く「左派」の倒錐し

った。そして被告研弁護師の過深

本・」で整備した疾動等を向抗、等でしか姿動物を適らこの治 ・ 「発生を表し、なれ、当日の「悪生薬」の小院「でにうン・セクトの難論日下内内」「「女子大学的」。後期であることが出 ・ 「本・「」で整備した疾動等をの向ことが出

入管闘争を革命的に展開

立ったり駆ったりの第5番「関会へ向け、医公園まで延え三時要は、他党派の出たり入っ」会共闘、各党派の順に、朱務省、

**全然了後、各市民団体、反戦** 

こた。そして、漢地、新居県労働会 に結婚した後、市内デモを責任し この日、九時より蒙大國香館前 の密集した組織的密境に恐怖した。 竹サオ部隊の頻事印練様で伝幹し

いのような経路で裁判長の退延命 く当際裁判の始まりである。

政領力の下への一本化であり

中部裁明(関西医大)/一年 HH 守 (愛媛大) 蘇後1年

岡部新一(関西大) 関 松村一堆(大規将大) 関 高松凛一郎(松山鹿大) 肩翼

160円

特集概吉本隆明論 マルクス主箋の日六的様立のための一視点水綿世界革命と民族解放戦争……………日由への道――前段陽蜂即の絵括…………

経済構造社 現代日本映動作家籍(ロ) 新中泰人……佐慶 神谷の可知性……………………………………………………………神谷の可知性…………………………………………………………………………………………神谷田本映動作家籍 神谷

報告に七二十二大五九東京都中央区京都二の四

本紙前号でもお知らせしたように、六〇年代階級概季の極度的敗北 四ページ化のお知らせ

化・敷摂の光突のため「慰飾」は四ページとなります。なお、早期週 断乎として率め、第三次BUND職役にむけて、より一層の理論的機 と第二次日UNDの影響を終拓し、新党派との非安協的な党派に争立 10回 500円 900円 以上1部 10回 郵便料 20回 1000円 1800円 (につき 400円

祇匹ページにむけての一口五百円カンパをお願いします。

権力の「密集した反革命」の前に敗北し、 概拠的には「大変的武装力

ひきだした我々自身が突破し得ず、このことによ の弱さ、階級的医界を有したもので

機動隊、って創出していくのか、ということが鋭く関われ、 競をも、
競争にあっては、権力条体を如何なる団結の質をも ら総の団結の内寒、陰層的医界は食品されなかったので

適用に如果に示される権力の「善集した反革命」 る。紡器だけいうならば、それは始先というプチ・

ていった我々の実。争」にあっては、バクロの正確さ、緻密さ、鏡さ

る板面附外を摂起し誇っているのかこ

我々はまず穴〇年代後半の階級腕手の運動植織論 干腰間する。

7組織の名称(「第二、第二の小西を行動不真会」7組織の名称(「第二、第二の小西を行動不真会」 他の護党派も五〇歩百歩である「馬二、集二の小 - 彼らの後銀路争も矢張り所発は小

こ言たのは会学連ないしは会共闘であった。た

その典型が社香間解放派である。 羅鹏争の位置づけ(またそれとの関係で蝦鹿行動) 『秋剱顕興争の道僧で、はっきりした第一の点は

も、上の最初の資は「大学的に製力が、「新聞」が、国際の活力を含むして、自衛院の得望を表現して、「大学の一般のでよう「実力の問題」といて、国際の実命の課題といて、国際の実命の漢のリーダーシップもとって新聞して、「は難切するという内容をもった。大学的計算など、国際の実命の漢のリーダーシップもとって新聞しては難切するという内容をもった。大学的計算など

大学では、 大学では、 大学で表え、 大学で表え、 大学で表え、 大学で表え、 大学で表え、 大学である。 大学でなる。 大学でなる。

人にP人の・東南アジア副発展修会議・日本協力委 区板銀行部委員会を組織し、市民社会におけるプロ の妻も核心的な問題・特医主義解除解心した。 南アジアにおける解略・皮革命或化に向け、この間 れるものとして、紫宙製予を各地区において無う地 実行委員会におけるスローガン論母は、紫石委員会におけるスローガン論母は、紫石委員会におけるスローガン論母は、紫石委員会におけるスローガン論母は、紫石委員会におけるスローガン論母は、紫石委員会と表している。

東条の内側を明らかにするならば、それはアピエト のままノーを・いまー方は「日衛隊隊体・全人成として以上述べてきた被撃闘争を担う後頭行動を・縦隊艦がノーを・いまー方は「日衛隊隊体・電会力としているのかして、一方は「日衛隊隊本・電台」

としての地位を認められた日帝は、東 8ソビエト型組織としての地区共闘へと結集化ざ いう文字を確なに使用している)批判を展開

らか不断に極え、革命の正規策へとたかわあげてい。共同中級派の授領勢争(じらいう釈か、喪えの1人丁甲)が実体的に領導することをもって、自か。に 論争されたスローガン関烈に 焦点を絞って

にも初らず、彼らのみ「蛟霆」ではなく「反耀

腕学を、とりわけ外からの頭いを覚の正規館(RG・8この内と外からの希国主義顕隊(自衛隊) 興体

・市民社会における亀製を生ぜしめ、拡大し、

日米共間声明でアジアにおける「聲も信仰できる 七〇年代における日帯の動向を쮩事外を路線とし

叛軍闘争の位置づ

市をみょうとしている。それは、去る一〇月二九日「全国後衛計輸製金」の南上、小四三曹によ員会の日前所で援によって、喇叭の雪や深め、喇叭の朝神や木げ、今「今中郷明連発を禁止の前た小四二曹の間いを直接的取頼として形成されてきた柴和甲年は、今秋、秀州未へル新賀千ण妻

略秋安保決験の交字通り「決戦」的たかまりの湖中、自衛隊内から革命部等至の火の手をあげ

共産主義青年同盟全国委員会

日夜が対か売売を行っている。残みは、この保管両条を担ってきた客任において、双その成日を終ままて、必ずや、111・九一令間を重適終金獲二額定をなんとしても寒期していかなってはならない。水海次はこの音形の一般として、乗載されているものである。

ししても実現していかなくて

全人民の武裝」か

実現に関して

り振明され、中るべき一二月九日に全間の頻繁行施物本員会を崇河に統結集して、結構されよう

今秋叛軍闘爭の総括

一階級裁判都砕!」のプラカードをもっている点だ 機を選案的にわれわれの難いによって対象化してい「権力闘争ー武英修説に向けて階級闘争の質的転 らする。大学的武規カンパニア開発に対する人死> 体的現実として確認すると同時に、われわれの側か 体的現実として確認すると同時に、われわれの側か は、操力による圧模を具 りれわれたとって重要なのは、機力による圧模を具 りない。 有していた有効性=革命性を喪失したのであるが、 て「大衆的武器カンパニア闘争」は圧殺され、

自衛隊解体

ればならない。すなわち七 武装カンパニア闘争」はその有効性=革命性をもち き時代」=権力闘争の時代として七〇年代階級 れわれにとってはもはや「大衆的

で、われわれによっても人死くの保告を受けた過去の登場と、国内における軍事力強化を主轄とした先的にではあれつくられている数据(反素地)

以上の運動的報話との関係において、欠に組織維助経済を否、表えはヘーン、<2~>酢まえ、紫質原本を次のより上の運動館的報話との関係において、次に根據、外交諮詢として説明していくであろう。 うなものとして機密した。 \ 3 \

> の展開に関して 具体的な叛軍闘争

しかなかったの、現在的には極めて州城的であったとしても、極情し、か、矢城り目にの領さとして自己統領的に総括すで、の叛死」とは、直接的には**施務経史・権力を取**名を極めて局勢の質・本の統・微領(会共闘・皮勢)の青崎を繋がとして、は、本允がちこれなりの理由がなかった表ではない。ない。というのは、われわれか志様している「某人をあった。

し、この金属各地の「基地螺体闘争」を中央におけ、過数)に対する闘いを「基地螺体闘争」として組織 ◇跳外からの関手として、

欧病体の酸いと同時一体的に内から小西三青は機械の地区に存在する領郷工場をさがしだし、工場内プ

の有効体=革命秩を療失した態争として、その意味 を、当更、アジア反共帰国の料合、その輩をで開えらとしているわれわれにとっては、もはやモ・クマールとして、東南アジアに対する優略。 思考上をお他を無くして見からして、この後は、冬、当院、アジアが共活国の特合、その地でとして、らいに支承を選択で「無心機を開手」のために即目から上院、十つ後代的解析を予権が開発の概念する。とのようと日かに、大学アジアに対する条帙、反落命、九さいら「書」書いの内閣をCCCで歌詞会(1)ある。「書」書いの内閣をの数をいっ、とのようと目から、大学の関するという、「書」書いていました。「書」書いていました。「書」書いていました。「書」書いていました。「書」書いていました。「書」書いていました。「書

行的権力再構、社会再構との同時一体的進行=軍事

粗様との共同行動を腰間して いかなくては

「田園反都野寺」は、二大神護野寺へと遠、字釈にはいかないが、やはり者に帰坡西寺の養生地、除、建攻を内包したわれわれの祭養野寺に、日寿の「点は、「田園反都野寺」は、二大神護野寺へと遠、字釈にはいかないが、 やはり者に帰坡西寺の養生地、除・建攻を内包したわれわれの祭養野寺は、日寿の「点は、 しかに青年労働者を中心とした反映の横いをみのが その核心として帝国主義 輝波製体 一系令の軍 今秋楽護闘寺の遠報で、あきらかになった第二の たか (トロツキー者、現代成湖荘)に依頼すること きょうさんだ。 その大きなが、大きな様性にいかなの間壁の寒を有 単方勝手にして、光たなべき本格的男が影響・近辺・女様にいっならば、それ後がないプチェーカルとってかわるべきはかりませんが、ためことをま 実際するを表示を 単型においたがは発酵や手が実験が、大きっても、実施がないのが、このことをま 実際するを表示を 単型においたがない。このことをま 実際するを表示を 単型においたがないできない アンジュー様 17、素質などが良いしてあんだいなったが、このことをは、または他がないプチェーカルとってから表情にいっならば、それ後がないプチェーカルとってから表情にいっならば、それ後がないです。 

の関連が関いています。 ・ 関連を対しています。 ・ 関連を対しています。 ・ 関連を対しています。 ・ 関連を対しています。 ・ 関連を対しています。 ・ に関連を対しています。 ・ に関連をいます。 ・ に関連をいまする。 ・ に関連をいます。 ・ に関連をいまする。 ・ に関連をいまる。 ・ に関連をいま

叛軍闘争の巨大な水路をく

「革命の軍隊・設」

「大学の機能」を発する場合を担い、1987年、 日本では、日本では、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、 日本のでは、 日本ので 批判に対する反称判

い手は何か、とたでられているのであって、単に限

る。まず、この批判に対する反批判。 はめることをもって中核 波の落発は批判 としてい 問題とさるべき精質的領域の問題であって での「米伽」職務の通程を現代日本に直接的にあて「民の武装」とは武装蜂組=頻力奪取以路、具体的に 彼らは、最近出版された。蘇命はいかに武装され、七日十日)における報告の中で「わが党の補償は全

点は、叛運腕争の具体的な腹脳に関して、極めて不一とによって「某命の罪族」難段は武器嫌起=神力系 によっ 程機された頻味の形態をとる」ーーと、主張して、 その意味では武装蜂能=権力奪取によって確立され、武装蜂属=権力奪取以降総設されたものであって、 ている。しかしこれは今くの的はすれる粉刺でしかのであり、こもそも、マルクスが「紫湖湾の廃止とている。しかしこれは今くの的はすれる粉刺でしかのであり、こもそも、マルクスが「紫湖されるのでは決してない にっている。「権力秀坂の勝勝より革命的地圧は、原則に基づく難隊の強烈についてลっているのと」 な大衆戒装に完全に解除するもの以外のなにもので 域が解体されるかの如く夢想するのは、自然発生的概由覚なままに「会人民の武婆」でもす。村とら難 した「全人民の武装」の課期は、武装蜂館=権力奪これに代えるに武装した人民かもってする」と模型 ではなく、新しい民主主義的問題、全人民の武装のの環局面における領域の解体と廃止について終るの ての労働者社会主義政党の将領と同様に決して かしら武汚蜂起=権力奪取以前

自然発生的な大梁の願いによって、ブルジョアジ ●電売学共同をバクロし、戦事研究を阻止す

した。及び路及社の統化を討る

中国衛星の治安訓練・治安出動拒否の願い必組織し

❷『全国新選連絡会議』藏設に向け、全国各地の振 通して、牧躍闘争の裾野を払け接觸行動李員会の

をもっている革命的駑階級の力が、

競行動売農会と総合し、連帯すること

「革命の軍隊建設」か 「英命の顕微」なのだ!

この間、何度かもたれた実行を真合において、主 は撤削にならない。われわれに対して批判を行なうこの間、何度かもたれた実行を真合において、主 かく ハメ的にもってきて、われわれを批判しても、それ 

武装蜂起=権力奪取以前に

中核派叛軍闘争論の

ひきだした権力の「南部した反策を」の表達しよう。 育成、長期半難目が開発能力の拡大、武器機能の開一統一敬義(今共興上反感)にとって代わる者たた故・ンにしてしまったオッチュコチュイのML茲の連集・一ンの第一の布徴は 紫傷窟の頭にと、ひきだした権力の「南部した反策を」のを表した。

正規軍建設で 原則に適用することは、反英命勢力の武装をも動長 にあっては、「会人民の武装」の原則をそれこを嫌

民の武装」となるだろう。この問題に関してトロッ現されるのは、社会主義社会において最後の「全人 われわれば「余人民の武装」の原則が文字通り実 よる躯体をあげることが、膝としてのみを窺されるであろう。 ツアーの策峻の帝国主義 整主義最終目標ではない。なぜなら共産主義強勢は

分業の坍壊機関、女化、行政組織に解消されること、順にたち襲われた。 階級由体の勝穏、したがって階級的網球の終絕によ って階級闘争の廃止を目指すからである。ソビエト 国家たることを止め、経済的、女化的な への無害次無であった。

しかし、われわれば、社会主義社会とは世紀社会 ば、第三次世界大戦 (「英命はいかに武装されたか」 P二〇 ] ーニ

両者は同時一体的なものとして進行するものである

「概争は他の手段をもってす

感じている。つまり、薬命の具体的関策では 「革命の『隊 建設

瞬間に、決定的な場所で、敵の勢力を粉砕できる力 たい。 別幻想の見本であって、医命では厥階板を打ちやぶ 命の難隊」難談に対して だ「革命の魔隊」建設を消極的に主張しているだ すでに、<1>において「革命の意味」素終!! によってこそ、彼らに対する批判 変配体制が「糊の用状の変配」と

る会人民の武装による正視第への変代のための 「薬命はいかに武装されたか」を一読すればあき

一決定的な瞬間に決定的な場所で厳の勢力を舒砕で

許されていない。何故ならば「競争と戦隊は政治器 る。側)を揉介にした稟談のみにしか基本的には武器は そ が機能する限り、又、関外の策隊反革命難と組合し っ とって寒現されるのかについて述べてみたい「全人民の武後」の原則は、いつ、いかなる 権力奪取によって成立するプロレタリア独裁関家に一巻であると一般化 ても「全人民の武差」が実現されることはないとい 権力奪取以降であ 「会人民の武禄」の原制は、いつ、いかなる彩雕を「人民本真会騰において将担されたのが一九、若干、模選に それるきらいが あるか、では一体「命を支援する、新銀隊憲決の必場所が生じ 全人民武装 の原則と

「党の革命」の更な

恒常的武装闘争の進撃に

その補給は巨大に感要する社会主義的生産によって 、よく刺褥、成藪し、社会主義的に担機された人 ば次のように述べている。「階級的民兵制は共一列の完全な解体を引き起こした。たとえ、 生産と 命が始まった時、参手と平和の間難は兵士の前

10

IV

□第四報告 《日本反帝戦線結成大会議案書》 総括 I 情勢

Ⅳ 日本反帝戦線行動 綱領 A5版 三二〇頁 四五〇円(〒中〇円)

「蘇 糖は、例えば一九〇五年 ニンか同じ攻撃(<蛸在の参ぶ~) 命の難味」である。この「物理的な関係」を担う組 う」との「物理的な闘争」で、現在的にはたとえて

■な中央集構体制がしかれ、社会の未需まで変動ががしかし、行為的現在にあっては、 される以前から、わが常は領事担縁をもっていた。 いくのかが、次に関われる。その場合、前提的

十二月十日発売! 予約受付開始! □第一報告 | 《共産主義論》

のために 向田新工「共産主義論」論争の止揚 けて 和光明 軍事を学み共産主義を組 のために 織する鉄の革命党建設に 日 向 H

補「過渡期世界の革命党」へ 共産同への道の関りの総括と第三次の関の大産同への自己 鴨

□第二報告《戦略論》 の理論的諸前提 野 田

現代帝国主義論への基礎

■1 現代ソ連論序説 ■ 恒武闘爭論の深化と叛軍 木

Ⅵ 日帝の軍事外交に対決す 色 学

中 村 進 中 村 進

□第二報告《運動·組織論》

Ⅰ 七〇年代型地▷共闘論の 深化のために

城山

叛軍行動委建設にむけて 見

ント批判 赤井 文人社会主義学生戦線=フロ伊 勢 洋 第二次共産同の組織総括 の深化のために

Ⅲ任務

東京都千代田区三崎町ニー七一六

# 沖縄闘争論の革命的深化のために

化へ向けた様々な策動がかかる「民主的ルール」を通して新たな局面への推転がもたらされている。日帝の本土一体 々に再度の全面的登場を要請するものであり我々自身へ、 は巧妙かつ大胆におしすすめられている。かかる事態は我 戦復帰」への期待を増している今日。しかし、日帝の策動 以」「新」左翼連が選挙の「勝利」に目をおおわれ、「反一挙に具体化しようとしている。沖縄一本土における「既 沖縄国政参加選挙が「成功裡」に遂行され、沖縄闘争の

いて下向させてゆくことを、なしきれない限界をもつとははいうまでもなく、われわれ自身の実践過程との関係にお 的転換の上に構成されるものにほかならない。以下、文章として現出されたにとどまらず戎々自身の世界認識の根底 が沖縄闘争論の全面的内容の総括としてはありえないこと この間の沖縄闘争論の一定の総括を迫っている。 そのことは単に本土への「復帰」「返還」で自明の過程

## 言え、一つの方法的総括と方向性を提出したい・ 削線

# 沖 縄闘争論定立上の諸問題

れているのでここではそれを深化 しきれていない。

総括の基軸そのものは既に夢旗・・ANPO=反革命同盟の再編 会成前検討が要請されている。 張=曼略という把握とNATO

させる方向で論を進める。

国主義の世界分割のための郊外膨 イデオロギー的に解明されていには「現代遠邇與世界における帝 闘争と本土との繋いの結合憲が の解明、そのことは沖癬現場の

従来のスローガンの批判的克服

(本) (大学の) (大学の)

| Comparison of the property o

の拡散の過程できわめてもろい支だが。

三面より

「社会の表現をあるのものはないで表現、最もの情報を多くは、これはは現立におりませんだった。」である。 まっというである。 まっというでは、 これがは、 これがない は、 これがない これがない これがない は、 これがない 民的合衆を とりつけつ つブルタ さに答写的編集の水質は不変なも まれることによってを祭の連用地がしたして神 機関域に おいて国 い手だけが楽わるだけである。ま た神機が目帝の統治=領土に組込機が返りない殿り 教徒は終らな わるものではなく、その文閣の担 ものでないことは目明であり、ま 配模式をつづけてきた日告が「沖」て沖縄の帝国主義支配の実際は変。吐露することによって結合される 激しながらも敗戦による国家意識 蒸地のみ残されることは標実なの 郷人民解放をめざす難い。 ある。国民報生産世界第三位を育るの際には米寅改は消滅し、米軍

□二・九全国叛軍連絡会議務成に向け、全 今後も担おうとしている我々にとって 会議結成に結集せよ

I

「中国学生としつの体 表示を入るのである。」同一は「100米」ということを指する情報を持ちられています。 「日本田本書子の自由学生としている 表示を与うしたってものである。「日本田本書子の自由学生としている 本のを与ったいて、これが同時の表したいてものである。「日本田本書子の自由学生としている 本のを与ったいて、これが同時の表したいてものである。「日本田本書子の自由学生としている 本のです。」「日本田本書子の自由学生を持ている。

「110米」ということを指する。 本語で、「110米」ということを指する情報を表しています。 「日本田本書子の自由学生としている 本のです。」「日本田本書子の自由学生としている 本のです。」「日本田本書子の自由学生としている 本のです。」「日本田本書子の自由学生としている 本のです。」「日本田本書子の自由学生としている 本のです。」「日本田本書子の自由学生としている 本のです。」「日本田本書子の自由学生としている。」

「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということを表面で、「110米」ということには、「110米」ということには、「110米」ということを表面で、「110米」ということには、「110米」というには、110米」というには、110米」というには、110米」というには、110米」というには、110米」というには、110米」というには、110米」というには、110米」とい

奈川・千寒・埼玉--

『行動編像』に述く単一の共同行動機関を形成す 奈川・千葉・埼玉――にわけている)において、――東窓・南部・四部・北部・中部・三多摩・神

ものに関係化することなく、全関を言ってと!! ものに関係化することなく、全関を言ってと!! である。われわれは、結成されようとしている全国はいかない。これはあくまでも当面の過渡的なもの われている衆産職争か多添きし、統一的に腰那じらる「悪ブロックを歌順にして、左ブロックにおいて「行いのに隣定化することなく、全国各地でお歌いに職・薬秘会議(全国地地領域部会議)の転地に指げ、既・飲金漢教会議を限トロ派諸者のぐとて、世界的な 異会方式の限界性を覚服するものとして、恒常的なま行委員会の成果の上にたって、一時的な実行委員会の成果の上にたって、一時的な実行委員会の成果の上にたって、二の間の独座にわた。 (北海道・東北・関東・・・・・) 仮譲連絡会議を結成の名プロック代表者によって護成 される各地方

党の正規策建設とXX戦の膜

より一層の共同反革命派地として、定をたてていたわけではないが、

参加選挙=一体化政策

四次防の実体と対決する叛軍闘争

ある。 ・ 土ー沖縄の一体的推進がめざされるので かかる立場のより一層の確認と不 の三点であり、その大衆的腰間自衛家の所体